

- イオン北海道は、「イオン脱炭素ビジョン」に基づく脱炭素への取り組みとして、2040年までに国内で排出するCO₂等を総量でゼロにすることをめざします。
- 本計画においては、運営するショッピングセンター等で使用している照明設備や冷蔵・冷凍ケースを省エネタイプのものへと順次更新・導入します。
- 上記に加え、新たにオフサイトでの再エネ発電からの調達、各地域での再エネ直接契約の推進等により、会社全体の炭素生産性を35.9%向上させます。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2023年6月～2026年2月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を35.9%向上させる。

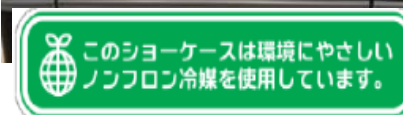
3. 前向きな取組の内容

照明設備や空調設備、冷蔵・冷凍ケースを省エネタイプのものへと更新・導入しエネルギー消費量を削減することに加え、オフサイトでの再エネ発電からの調達や、各地域での再エネ直接契約の推進を実施。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<冷凍・冷蔵ケース・PPAの導入>



取り組み一例

- LED照明への変更
- 省エネ対応の冷ケースへの入れ替え
- 節電チェックリストの活用（消灯や館内温度設定等）等
- 太陽光パネル設置（PPAモデルの導入）

<導入する店舗>

